

みほとけ

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺990

T E L 048 - 794 - 1759

F A X 048 - 794 - 3388

E-mail jyougenji@hotmail.com

常源寺と檀信徒をつなぐ

あけましておめでとうございます

檀信徒の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、喪中にて新年を迎えられました方には、本年が良き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

今年は辰年です。干支の動物は「龍」で、十二支の中では唯一の架空の動物です。寺院では龍の絵や彫刻などをしばしば見かけるように、龍は仏教と関わりの深い存在であり、お釈迦様の教えによって仏教の守護神となった動物であると考えられています。龍は天高く舞い上がります。龍にあやかり、運気をつかみとる一年にしたいものです。

さて、昨年4月に住職に就任し、早いもので9ヶ月が経過いたしました。この間、さまざまな場面で檀信徒の皆様と接する機会をいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響はまだ完全には拭えませんが、御法事等のお寺と檀信徒の皆様とのつながりも少しずつコロナ禍前に戻りつつあります。本年も引き続き、当山の護持並びに寺門興隆のために御理解と御協力いただきますようお願い申し上げます。

令和6年が檀信徒の皆様にとりまして幸せな一年になりますことを心より御祈念申し上げます。



■ 暮らしの中の仏教用語

挨拶（あいさつ）

日常的によく使われる挨拶という言葉ももともとは仏教語です。挨拶は「押す」、拶は「せまる」という意味があり、挨拶は前にあるものを押しつけて進み出ることをいいます。

禅宗では、「一挨拶」といって、師匠が門下の僧侶に、または修行僧同士が、言葉や動作で、その悟りの深淺を試すことがあります。これが挨拶なのです。

そこから転じて、応答や返礼、儀礼や親愛の言葉として広く使われるようになりました。

最近では、日常の挨拶が少なくなったような気がします。新年で親戚や友人と挨拶をする機会も増えると思います。日々の暮らしを円滑に過ごすためには、まず挨拶からですね。

◇ 仏教なんでもQ&A ◇

Q 「^{とうぼ}塔婆」って何ですか？

A 正しくは「^{そとうぼ}卒塔婆」と書き、古代インドの言語であるサンスクリット語（梵語）の「ストゥーパ」に由来しています。元は饅頭型に盛り上げた墓のことで、お釈迦様の遺骨や遺品を納めた供養塔を意味していました。御法事の際に建てる板塔婆は、これが簡略化されて変形したもので、先端部が「空風火水地」という宇宙を構成する五つの要素を意味する五輪塔の形をしており、そのまま仏身を現わしています。御塔婆は仏様の身体そのものなので、御塔婆を建立することで仏像を一体建立するのと同様の功德があり、回向しようとする霊位を仏様の世界である安らぎの境地へと導き、仏果を増すことができると考えられています。

御法要のお申込み

年回忌等の御法要は、故人様の御冥福を祈り、御先祖様を御供養する大切な仏教行事です。令和6年に年回忌に該当している御家庭におかれましては、故人様の「御戒名」、「俗名」、「逝去日」を同封いたしましたので、ぜひ、御法要を御検討ください。御先祖様の御冥福とともに、御家族皆様の家内安全、除災招福も同時に祈念させていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響や御自宅が遠方等の理由で、御法要を実施することが難しい場合、御塔婆供養のみも受け付けております。

令和6年 年回表

一周忌	令和5年逝去
三回忌	令和4年逝去
七回忌	平成30年逝去
十三回忌	平成24年逝去
十七回忌	平成20年逝去
二十三回忌	平成14年逝去
二十七回忌	平成10年逝去
三十三回忌	平成4年逝去

<御法要のお申し込みについて>

- ① 御希望の日時と場所をお寺へ御連絡ください。すでに別の予定が入っている場合もございますので、代わりの日時もあらかじめお考えくださると幸いです。
※ 御法要のお申し込みはなるべく早めにお問い合わせいたします。直前の御連絡では御希望に添えない場合がございます。
- ② 御塔婆をおつくりになる場合は、御塔婆をおつくりになる方の御名前をお知らせください。御塔婆のお申し込みは、遅くとも御法要の1週間前までにお願いいたします。
※ 御法要の中で御名前をお呼びいたします。御名前には必ずふりがなをお付けください。

■ 御法要のお勤めの仕方 ■

- 身内の方には、日時と場所は、電話などでお知らせすればよいですが、故人様と生前縁の深かった方には案内状を出すのがいいでしょう。
- できれば御法要の前にもお墓参りをして墓所を掃除し、香華を供え、年忌法要を営むことを墓前に御報告しましょう。
- 仏壇はきれいに掃除し、花などを荘厳しておきます。また、仏飯、霊膳、お菓子、季節の果物、故人様が好きだったものをお供えしておきましょう。
- 御法要をお寺で営む場合、**御位牌、写真、墓参用の花・線香、念珠**を御持参ください。御本尊様への生花・御供物の御持参は任意です。

退董式(たいとうしき)

12月10日(日)、前住職の退董式(住職を退任する儀式)を厳修いたしました。近隣御寺院の御住職様、常源寺総代・護持会役員の皆様の御参列のもと、厳粛なままに執り行うことができました。当日は、多くの檀信徒の皆様にも御参列をいただき、前住職より直接退任の御挨拶をさせていただくことができました。24年間の長きにわたり、前御住職を支えていただきました皆様に改めて深く感謝申し上げます。

